

日 時：平成 28 年 6 月 6 日（月）16:00～17:15

出 前 先：奈良県立奈良北高等学校

受 講 者：奈良北高等学校生徒および教職員（65 名）

講 師：大島昭彦先生（大阪市立大学教授）

授業題目：「奈良地域の地震による地盤災害と備え」

奈良北高等学校では、文化委員の生徒さんを中心とした文化講座が定期的に行われており、その講師として講演を行う形式で本出前授業を実施しました。受講者は、文化委員の生徒さんと教職員の皆様で、65 名の方々が聴講されました。講師は、大阪市立大学教授の大島昭彦先生にお願いしました。

講演では、奈良県に被害を及ぼした過去の地震の歴史、奈良県周辺の主要活断層と海溝での地震の発生可能性、海溝型地震と直下型地震の発生メカニズムがそれぞれ説明された。特に、発生確率が高いとされている南海トラフ地震の過去の発生状況や今後の発生確率について詳細な説明があった。また、奈良県から示されている直下型地震と海溝型地震の被害想定についても紹介がなされた。

続いて、地震による地盤災害の例として、液状化現象の発生メカニズムと発生しやすい地盤条件、ならびに熊本地震において観測された地震による地すべり・斜面崩壊の発生メカニズムについて説明がなされた。特に、液状化現象については、東日本大震災で発生した浦安市における現地調査の写真や映像も交えて詳細に説明をいただいた。

最後に、地震についての備え・対策についての心構えと対策について紹介がなされた。いつでもどこでも地震が発生するということを全体に、正しい防災知識に基づき、第一に自助の意識を持って備え、行動することの重要性を強調され、具体的な備えの方法を紹介いただき講演を締めくくられました。講演終了後も参加された皆様から熱心な質問が続き、皆様の地震災害への意識の高さが伺えました。

文責：乾 徹（京都大学）

